

5. 緑地の配置方針

基本的考え方

基本方針

「やま」ゾーン

自然に恵まれた「やま」の緑は、伊勢原市の都市環境保全やシンボル景観など、重要な役割を有しており、恒久的な保全を目指します。また、大山及び日向観光などはじめ、市民の自然体験や森づくりなど、自然度の高い緑とのふれあいの創出を目指します。

森林の総量の確保
観光振興と連携する森づくり
山の緑とのふれあいネットワークの充実

「おか」ゾーン

自然の緑と集落地の緑が調和する「おか」の緑は、「やま」の緑を「まち」につなぐ重要な役割を有し、豊かな農村文化と身近な動植物に恵まれた里山環境を形成しています。これらの里山環境を構成する緑の保全・育成を推進し、魅力ある地域の創造を目指します。また、県立いせはら塔の山緑地公園や第二東名自動車道、国道246号バイパス（厚木秦野道路）の整備においては、豊かな里山環境と調和した土地利用を図るとともに、周辺の自然環境への影響を軽減する緑地等の整備を目指します。

里山環境を構成する緑の保全・育成
自然と結びついた大規模な緑地公園の整備
里山環境と調和する新たな緑地軸の形成

「まち」ゾーン

緑の量的不足の著しい中心市街地において、重点的に公共施設等の緑化推進を図り、都市の顔に相応しい緑を創出するとともに、緑のプロムナードや住区基幹公園の整備、民有地の緑化誘導により緑の面的な展開を図り、花と緑に溢れた「まち」を目指します。また、子どもたちの身近な自然とのふれあいの場として、市街地に残る樹林地の保全を図り、生態系の回廊形成を目指します。

伊勢原駅周辺地区等の重点的な緑化の推進
「おか」や「さと」に連なる緑のプロムナードの形成
「まち」に残存する樹林地の保全
生産緑地等の保全・活用
住区基幹公園の整備・改善
緑豊かな街角形成
民有地の緑化誘導

「さと」ゾーン

「さと」の緑の大部分を占める農地は、良好な緑として保全し、市民とのふれあい空間としての利用を目指します。特に小川や水路は、子どもの自然体験や散策路としての活用を目指します。集落地の樹木などの緑は、樹林地の少ない「さと」では貴重な存在であることから、その保全を目指します。また、集落地では、身近な遊び場や憩いの場の創出を目指します。

農地とのふれあい空間形成
小川や水路の親水性及び多自然性の向上
集落地の緑の保全
集落地における「憩いの場」の整備

「歌川・渋田川」ベルト

各ゾーンを結ぶ緑の主軸形成を目指します。そのために、歌川・渋田川の散策路整備を行うとともに、長期計画として将来的な河川改修整備時にあたっては、親水整備や多自然整備等に努めるなど、水辺の回廊形成のための配慮を求めていきます。また、河畔林の保全・創出、大山街道の緑化を行います。また、第二東名自動車道の高架下・環境施設帯等の空間を利用した公園緑地整備や土地区画整理事業地における公園の適正配置、日向街道の緑化を行います。特に、伊勢原市総合運動公園や市民の森ふじやま公園、丸山城址公園等は、公園機能を連携させて緑のレクリエーション拠点の形成を目指します。また、「おか」と「まち」との結節機能を強化させます。

「歌川・渋田川」水辺の回廊の形成
都市公園の連携によるレクリエーション拠点の形成
第二東名自動車道を利用した公園緑地整備
土地区画整理事業による新たな緑の創出
日向街道の沿道緑化

「鈴川」ゾーン

各ゾーンを結ぶ緑の主軸形成を目指します。鈴川の河川改修整備にあたっては、親水整備や多自然整備等に努めるなど、水辺の回廊形成のための配慮を求めていきます。また、河畔林の保全・創出、大山街道の緑化を行います。また、第二東名自動車道の高架下・環境施設帯等の空間を利用した公園緑地整備や土地区画整理事業地における公園の適正配置、日向街道の緑化を行います。特に、伊勢原市総合運動公園や市民の森ふじやま公園、丸山城址公園等は、公園機能を連携させて緑のレクリエーション拠点の形成を目指します。また、「おか」と「まち」との結節機能を強化させます。

「鈴川」水辺の回廊の形成
緑の結節機能の強化
第二東名自動車道を利用した公園緑地整備
大山街道の沿道緑化



